

## 意識調査の結果分析の概要について

第2次菊川市総合計画を策定するにあたり、平成26年度に「市民」、「企業」、「団体」、「自治会」、「中学生」、「高校生」、「大学生」の区分で、意識調査を実施させていただきました。

集計結果については、「第2次菊川市総合計画策定に関する意識調査結果報告書」のとおりまとめ、その結果報告を基に、分析し次のとおりまとめました。

### 1 意識調査区分ごとの調査結果のポイント

区分	調査結果のポイント
<b>市民</b> (1,023/2,000) 回収率:51.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 菊川市の魅力は「自然・緑」「茶」「交通便利」。</li> <li>✓ 住みやすさの評価は、住みやすいが7割、住みにくいが1割。地区によって評価にばらつきがある（嶺田、小笠南、小笠東、内田地区などで評価が低い）。</li> <li>✓ 住みにくいと評価する理由は「交通や買い物の利便性」。住みやすい評価の理由は「自然環境」が多い。</li> <li>✓ 市政への市民意見の反映状況については「わからない」が4割と多い。協働のためには「意見が反映される仕組みづくり」が求められている。</li> <li>✓ 土地利用の課題は「中心市街地の有効利用」や「自然とふれあいの場」など。</li> <li>✓ 将来像にふさわしいキーワードは、「自然」「子ども」「安心」「緑」「茶」など。</li> <li>✓ 市政の重点事項としては、「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「元気に暮らせる保健・医療・健康づくり」、「住環境の整備」、「若者の定住・就業の促進」など。</li> <li>✓ まちづくりの参加機会では、「自治会活動」や「アンケート調査への協力」が多い。</li> </ul>
<b>企業</b> (58/96) 回収率:60.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業活動のしやすさの評価は、「活動しやすい」が6割、「活動しにくい」が3割。中小企業で評価が低い。</li> <li>✓ 活動しやすい理由は「交通の利便性」、活動しにくい理由は「災害面の不安」や「従業員確保」など。</li> <li>✓ 施策評価では「公共交通」の不満が高く、「工業振興」や「防災」の重要性が高い。</li> <li>✓ 経営上の課題は「利益率の低下」や「人材確保」など。</li> <li>✓ 「若者の就業への支援」の必要性が示されている。</li> <li>✓ 地域活動や社会貢献活動への取り組みは、約半数が実施しており、6割が協働による参画意向を持っている。</li> </ul>
<b>団体</b> (93/145) 回収率:64.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 団体活動のしやすさの評価は「活動しやすい」が5割、「活動しにくい」が1割。</li> <li>✓ 団体活動の課題は「役員等の高齢化」と「会員数の減少」。</li> <li>✓ 菊川市の魅力は「自然・緑」「茶」。</li> <li>✓ 施策評価では「道路整備」「防災」「農業振興」の不満が高く、「高齢者福祉」や「防災」の重要性が高い。</li> <li>✓ 市政の重点事項としては「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「元気に暮らせる保健・医療・健康づくり」、「若者の定住・就業の促進」など。</li> </ul>
<b>自治会</b> (111/128) 回収率:86.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自治会活動のしやすさの評価は「活動しやすい」が4割、「活動しにくい」が1割に満たない。</li> <li>✓ 自治会活動の課題は「役員選出の調整」と「若者を含めた参加者が少ない」など。</li> <li>✓ 菊川市の魅力は「自然・緑」「交通の利便性」「茶」。</li> <li>✓ 施策評価では「道路整備」「医療」の不満が高く、「高齢者福祉」「医療」「防災」「雇用」などの重要性が高い。</li> <li>✓ 市政の重点事項としては「元気に暮らせる保健・医療・健康づくり」「若者の定住・就業の促進」「子どもを産み育てやすい環境づくり」など。</li> </ul>
<b>中学生</b> (459/485) 回収率:94.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 住みやすさの評価は「住みやすい」が8割、「住みにくい」が2割。</li> <li>✓ 住みにくいと評価する理由は「買い物の利便性」。住みやすい評価の理由は「自然環境」「自然災害の少なさ」が多い。</li> <li>✓ 将来も菊川市に住みたいと考える中学生は4割。</li> <li>✓ 菊川市の魅力は「自然・緑」「茶」、将来像にふさわしいキーワードも「自然・緑」「茶」。</li> <li>✓ 市政の重点事項としては「安心安全なまちづくり」「元気に暮らせる保健・医療・健康づくり」「住環境の整備」など。</li> </ul>

区分	調査結果のポイント
<b>高校生</b> (447/472) 回収率:94.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 住みやすさの評価は、住みやすいが7割、住みにくいが2割。</li> <li>✓ 住みにくいと評価する理由は「買い物や交通の利便性」。住みやすい評価の理由は「自然環境」が多い。</li> <li>✓ 将来も菊川市に住みたいと考える高校生は2割。</li> <li>✓ 菊川市の魅力は「自然・緑」「茶」、将来像にふさわしいキーワードも「自然」「茶」。</li> <li>✓ 魅力あるまちにするために期待することは「商業の充実」「交通利便性の向上」。</li> <li>✓ 市政の重点事項としては「住環境の整備」が最も多い。</li> </ul>
<b>大学生</b> (76/100) 回収率:76.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 住みやすさの評価は、住みやすいが8割、住みにくいが1割。</li> <li>✓ 将来も菊川市に住みたいと考える大学生は7割。</li> <li>✓ 住み続けたい理由は「ふるさとへの愛着」「親・友人」など。住み続けたくない理由は「商業や交通の不便さ」と「就職先」。</li> <li>✓ 菊川市の魅力は「自然・緑」「茶」。</li> <li>✓ 市政の重点事項としては「子どもを産み育てやすい環境づくり」が最も多い。</li> <li>✓ 土地利用の課題は「中心市街地の有効利用」など。</li> <li>✓ 産業振興に必要なことは、「若者の就業への支援」。</li> </ul>

## 2 意識調査結果分析のまとめ

- 菊川市の魅力としては、総じて「自然・緑」「茶」「交通利便性」。これらが住みやすさや住み続けたいといった評価の主な理由にも挙げられている。
- 「交通利便性」については、地区や年代によって住みにくいと評価する理由にも挙げられている。
- 住みやすさの評価は年代によって大きな差はみられないが、将来も菊川市に住みたいと考えるかどうかについては、大学生は7割と高いが、中学生は4割、高校生は2割と低くなっている。
- 大学生の市内での居留意向の高さは「ふるさとへの愛着」や「親・友人などの存在」が主な理由となっている。
- 市政の重点事項としては、若者も含めて、総じて「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「元気に暮らせる保健・医療・健康づくり」、「住環境の整備」、「若者の定住・就業の促進」などが多く挙げられている。
- 土地利用の課題としては「中心市街地の有効利用」が挙げられる。
- 産業振興に必要なことは、大学生や企業から「若者の就業への支援」の必要性が示されている。
- 特に居留意向が低い高校生からは、魅力あるまちにするために「商業の充実」や交通利便性の向上などが期待される。
- まちづくりへの参加機会として「自治会活動」の重要性が示されているが、自治会活動上の課題では「役員のなり手」や「若者を含めた参加者が少ないこと」など人材面が課題となっている。